

おぎおんさあ

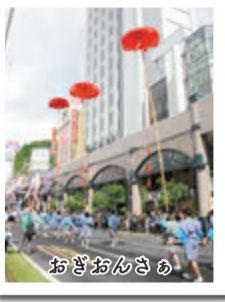
鹿児島県の夏の風物詩「おぎおんさあ」。宵祭は伝統芸能や大道芸パフォーマンスなど、本祭は総勢3000人以上のご神幸行列が古式ゆかしく、にぎやかに行われます。

■宵祭

- ◇日時 7月18日(土)14時～
(天文館公園は17時～)
- ◇場所 天文館公園(メイン会場)、山形屋ベルク広場・天文館ぴらもーる(サブ会場)

■本祭

- ◇日時 7月19日(日)14時30分～
- ◇場所 天文館電車通り一帯
【鹿児島商工会議所 225-9511】



豆知識

おぎおんさあは無病息災や商売繁盛を祈願して江戸時代から行われている伝統的な祭りで、平成24年7月に本市の無形民俗文化財に指定されました。

曾我どんの傘焼き

鹿児島三大行事の一つ、「曾我どんの傘焼き」。当日は剣舞、野太刀自顕流演武・うたいあげ・傘焼きを行います。

- ◇日時 7月25日(土)19時30分～
※予備日は8月8日(土)19時30分～
- ◇場所 甲突川河畔(高麗町甲突橋下流)
【鹿児島三大行事保存会 080-9054-2835】



豆知識

鹿児島三大行事とは「妙円寺詣り」「赤穂義臣伝輪読会」「曾我どんの傘焼き」のことをいいます。曾我どんの傘焼きは、曾我兄弟が親の敵討ちを果たしたときに、傘をたいまつ代わりにして陣屋を進んだという故事にちなんだ行事です。

海水浴場海開き

今年も海開きの季節がやってきました。毎年、海水浴に行く人もそうでない人も海で夏を満喫してみませんか。

海水浴場	開設期間	開設期間中の問い合わせ先
磯海水浴場	7月10日(金)～8月31日(月)	磯ビーチハウス 248-3006
生見海水浴場	7月18日(土)～8月31日(月)	生見ビーチハウス 343-0470
西道海水浴場 レインボービーチ		スポーツ課 803-9621

※開設時間は10時～18時



“味のまち鹿児島”「薩摩美味維新 夏の美味めぐり」

四季折々に実施している「薩摩美味維新」。夏は鹿児島の食材を使った料理の「食べ歩き」や地元産の焼酎などの「飲み歩き」を行います。チケットを使って鹿児島の食をお楽しみください。

チケット1枚で各店オリジナルのセットメニュー「美味セット」が食べられるほか、ソラキューの提示で一品サービスや割引などのサービスもあります。

- ◇期日 8月1日(土)～31日(月)
- ◇場所 鹿児島中央駅周辺、騎射場地区、いづろ・天文館地区の飲食店

■チケット・ソラキューの販売

- ◇販売開始日 7月15日(水)
- ◇販売場所 観光振興課、たまちサロン、アミュプラザ鹿児島インフォメーション、山形屋プレイガイドなど
- ◇料金 チケット1冊3枚つづり・前売り券2850円(当日券3000円)、ソラキューは薩摩焼が1000円、桜島溶岩焼が800円

【サンサンコールかごしま 099-808-3333(FAX099-808-2525)】

「美味グランプリ」開催!!

参加者の声などをもとに参加店をランキング! はがきを送ってくれた人に抽選でプレゼントもあります♪



豆知識

「ソラキュー」とは底が尖っていたり、底に穴が開いている、鹿児島に伝わる杯です。

観光レトロ電車「かごでん」&定期観光バス

観光レトロ電車は夏休み期間中、水曜日以外は毎日運行します。車内では観光サポートガイドによる観光案内も楽しめます!

ほかにも毎日運行の定期観光バスがありますので、この夏はかごしま再発見の旅に出かけてみませんか。

■観光レトロ電車「かごでん」

- ◇運行期間 7月17日(金)～8月31日(月)
- ◇出発時間 土・日曜日と祝日は10時と11時10分、水曜日以外の平日は10時
- ◇運行コース 鹿児島中央駅前→天文館通→鹿児島駅前(休憩)→高見馬場→騎射場→郡元→鹿児島中央駅前(終点)
- ◇料金 大人340円、小児160円(一日乗車券も利用可)
【交通局電車事業課 257-2116(FAX257-2119)】



■定期観光バス(毎日運行)

- ①かごしま歴史探訪コース
- ◇出発時間 9時5分、13時45分
- ②桜島自然遊覧コース
- ◇出発時間 9時、13時50分
- ①②共通-
- ◇所要時間 約3時間30分 ◇のりば 鹿児島中央駅東口8番のりば
- ◇料金 大人2300円、小学生以下1200円
- ※予約は前日の17時まで受け付け。空席があれば当日でも乗車できます
【交通局バス事業課 257-2117(FAX257-2134)】



交通局オリジナルサウンドバス(第2弾)好評発売中!!

- ◇販売場所 乗車券発売所、交通局ホームページ通信販売、鹿児島中央駅周辺のローソンなど
- ◇料金 1000円
【交通局総合企画課 257-2102(FAX258-6741)】



市民とともに

鹿児島市長 森博幸



朝顔に釣瓶とられて、もう水「井戸」のつるべに水をもらいに行つた(加賀千代女)

この俳句からは、朝顔の成長するたくましさや優しい花のイメージが伝わってくるようです。

朝顔は、古来中国では高価な薬として珍重され、日本へは奈良時代末期に、遣唐使によって持ち込まれたと伝えられています。その後、観賞用として数多くの品種が栽培されています。

小学校では、生活科の授業の中で朝顔の栽培が取り入れられ、子どもたちが、種をまき、水やりをし、花を咲かせる体験を通して、自然を学んだり、自らの成長に気付くことができる貴重な教材の一つとなっているようです。

冒頭の句にもあるように、朝顔は成長も早く、開花期が長いのも特徴です。花の大きさや色も多く、思い思いに楽しめます。また、つるをネットに這わせ、緑のカーテンを作るなど、涼も味わうことができます。

朝は愛らしい花を観賞し、昼は緑陰を、そして夏の終わりに種子を取ることのできる朝顔を、ご自宅の庭先やプランターなどで楽しんでみればいかがですか。



■夏休みの思い出づくり

間もなく、子どもたちが待ちに待った夏休みが始まります。

子どもの頃、山に登ったり、海で泳いだり、友達と楽しく遊んだ思い出をお持ちの方も多いのではないのでしょうか。また、今の子どもたちにも、鹿児島の豊かな自然の中で、この時期にしか体験できないことを精いっぱい楽しんでほしいものです。

先日、市民栄誉賞を受けた、ノーベル物理学賞受賞の赤崎勇さんも、旧制高校までの多感な時期を本市で過ごした経験が、その後の人生に大きく生かされたとおっしゃっていました。子どもの頃、遊びで得たさまざまな経験は、その後の人生を豊かにしてくれることと思います。

今月号の特集は、海水浴場の海開きやかごしま紹介しています。子ども同士や親子で、暑い夏を上手に乗り切りながら、一番の思い出をつくらせてあげましょう。